

地球温暖化はどうなるのか？

—IPCC の最新科学的知見と日本からの貢献—

日時：平成 25年 **12** 月 **3** 日(火) 14:00~17:00

プログラム

総合司会：室山哲也 NHK 解説委員

13:00~	開場
14:00~14:05	文部科学省 挨拶
14:05~14:10	環境省 挨拶
【第1部・講演】 ※ 講演タイトルは今後変更することがあります	
14:10~14:40	基調講演 「IPCC 第5次評価報告書第1作業部会 (自然科学的根拠) の概要」 Thomas Stocker University of Bern, Switzerland IPCC第5次評価報告書第1作業部会共同議長
日本からの貢献 14:40~14:53	講演1 「生き物たちがつくる地球環境 -最先端の科学で予測する-」 河宮未知生 海洋研究開発機構
14:53~15:06	講演2 「地球温暖化がとまった? -近未来の気候変動予測-」 木本昌秀 東京大学大気海洋研究所, IPCC AR5 WG1第11章執筆者
15:06~15:21	講演3 「極端な気象現象 -大雨や台風はどうか-」 鬼頭昭雄 筑波大学・気象庁気象研究所, IPCC AR5 WG1第14章執筆者
15:21~15:32	講演4 「水災害への影響を知る -洪水や干ばつ-」 沖 大幹 東京大学生産技術研究所, IPCC AR5 WG2第3章執筆方針・編集担当者
15:32~15:40	質疑応答
15:40~16:00	休憩
【第2部・パネル討論】	
16:00~16:55	テーマ：「IPCC報告書とCOP19での議論—課題と展望—」 コーディネーター：室山哲也 NHK解説委員 パネリスト 江守正多 国立環境研究所, IPCC AR5 WG1第9章執筆者 沖 大幹 東京大学生産技術研究所 鬼頭昭雄 筑波大学・気象庁気象研究所 西岡秀三 地球環境戦略研究機関 渡邊正孝 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科
16:55~17:00	総論 松野太郎 海洋研究開発機構 (平成25年度(第22回)ブループラネット賞受賞)

場所：はまぎんホール ヴィアマーレ

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1
TEL: 045-225-2173 FAX: 045-225-2183

※駐車場のご用意がございませんので、ご来場の際は、公共の交通機関等をご利用くださるよう、お願い申し上げます。



- JR・横浜市営地下鉄線
桜木町駅下車 動く歩道利用 5分
- みなとみらい線
みなとみらい駅下車
「クイーンズスクエア連絡口」
「けやき通り口」より徒歩7分

申込方法 (事前登録制) : <http://ipccwg1.restec.or.jp/2013sympo/>

主催：文部科学省、環境省

共催：気象庁(予定)、横浜市、一般財団法人リモート・センシング技術センター、
公益財団法人地球環境戦略研究機関